

2011 年 10 月の東北地方の天候

【 10 月の特徴 】

○気温の変動が大きい

(1) 2011 年 10 月の概況

この期間、高気圧と低気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わった。上旬の前半に強い寒気が流れ込んだため、気温はかなり低くなり、各地の山で初冠雪を観測した。その後は南から暖かい空気が流れ込んだため、中旬の中頃と下旬の前半を中心に高温となり、気温の変動が大きかった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。月間日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間、東北日本海側は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間の終わりは高気圧に覆われて晴れた。東北太平洋側は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。5 日から 6 日にかけて低気圧が本州南岸から三陸沖を北東進したため各県で大雨となったところがあった。7 日は北海道付近を低気圧が東進したため、山形県と秋田県で大雨となったところがあった。期間の前半に強い寒気が流れ込んだため、気温はかなり低くなり、各地の山で初冠雪を観測した。

平均気温は東北地方でかなり低い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。

中旬：この期間、高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、期間の中頃は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日があった。15 日から 16 日にかけて日本海の低気圧と本州南岸の前線が東北地方を通過したため、15 日は秋田県と岩手県で大雨となり、16 日は山形県、岩手県、宮城県で大雨となったところがあった。期間の中頃を中心に暖かい空気が入り、気温は高くなった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。

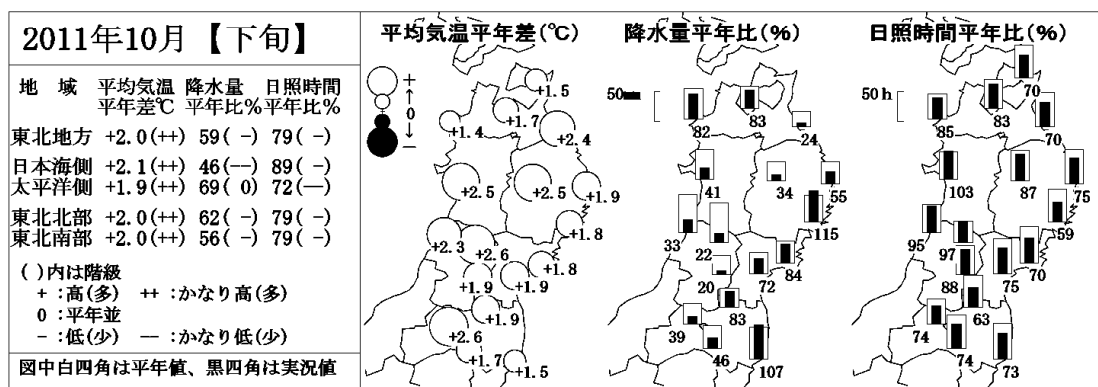
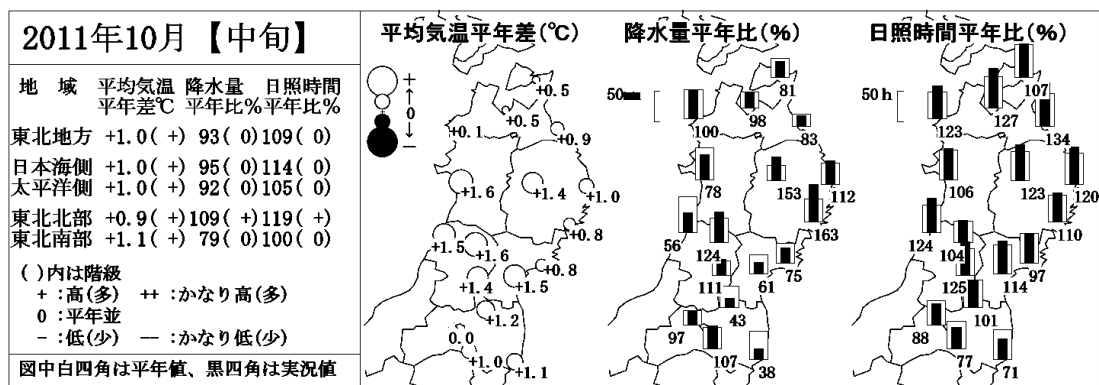
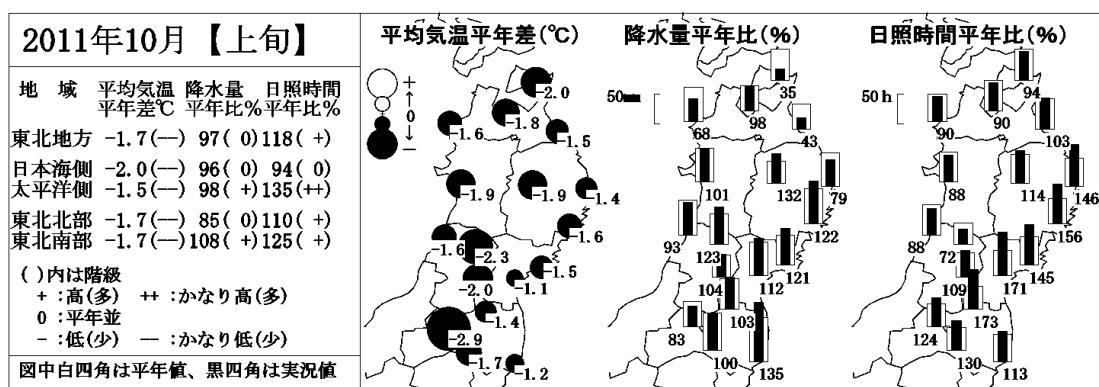
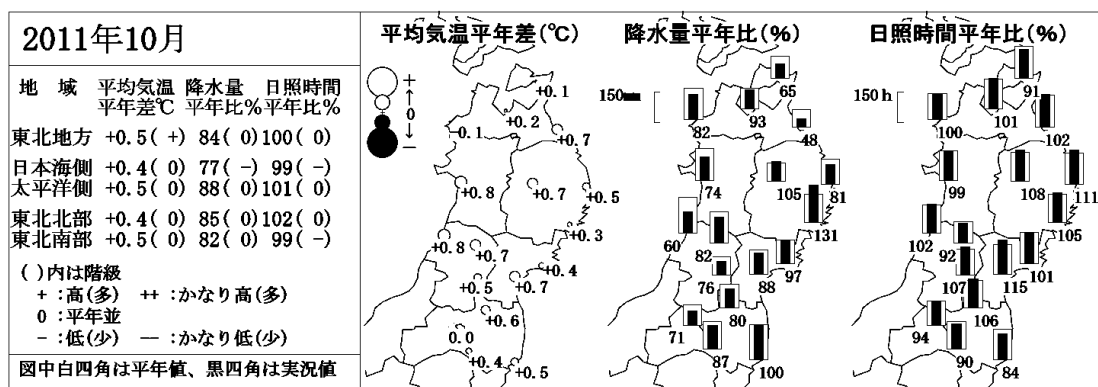
下旬：期間の前半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間の後半は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。22 日は低気圧が東北地方付近を北東進した影響で、福島県、岩手県、宮城県で大雨となったところがあった。25 日は東北地方を寒冷前線が通過した影響で、山形県、秋田県で大雨となったところがあった。期間の前半を中心に南から暖かい空気が流れ込んだため、気温はかなり高くなった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。

(注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。
細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。
平年値の統計期間は 1981～2010 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2011年10月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1981～2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2011 年 10 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	13.3	(+0.2)	○	96.5	(93)	○	13	150.9	(101)	○
深 浦	13.4	(-0.1)	○	128.0	(82)	○	17	131.2	(100)	○
む っ	12.5)	(+0.1)	○	71.5)	(65)	○	11)	144.5)	(91)	—
八 戸	13.7)	(+0.7)	+	41.5	(48)	—	8	164.1)	(102)	○
秋 田	14.8	(+0.8)	+	117.0	(74)	—	13	143.4	(99)	○
盛 岡	12.8	(+0.7)	+	98.0	(105)	○	13	156.9	(108)	+
大 船 渡	14.3	(+0.3)	○	184.5	(131)	+	10	147.3	(105)	○
宮 古	13.8	(+0.5)	+	102.0	(81)	○	7	172.7	(111)	+
仙 台	15.9	(+0.7)	+	107.0	(88)	○	10	171.2	(115)	+
石 巻	14.9	(+0.4)	○	116.0	(97)	○	9	156.9	(101)	○
山 形	14.1	(+0.5)	○	70.5	(76)	○	10	141.1	(107)	○
新 庄	13.4)	(+0.7)	+	128.0	(82)	—	16	96.7)	(92)	—
酒 田	15.9	(+0.8)	+	108.0	(60)	—*	11	145.0	(102)	○
福 島	15.7	(+0.6)	+	95.0	(80)	○	8	144.5	(106)	○
若 松	13.5)	(0.0)	○	71.5	(71)	—	8	114.6)	(94)	○
白 河	13.9)	(+0.4)	○	118.0	(87)	○	11	124.8)	(90)	—
小 名 浜	16.9	(+0.5)	○	173.5	(100)	○	9	128.4	(84)	—

(注) 1. 平年値は 1981～2010 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1981～2010 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

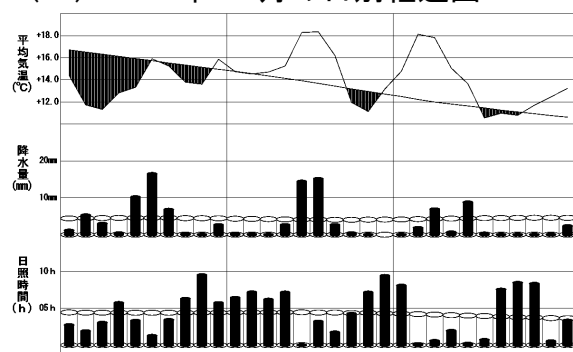
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

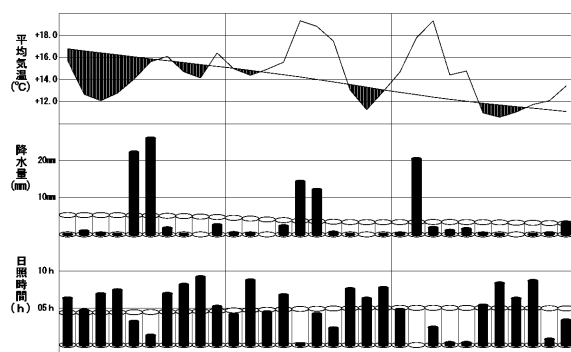
3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

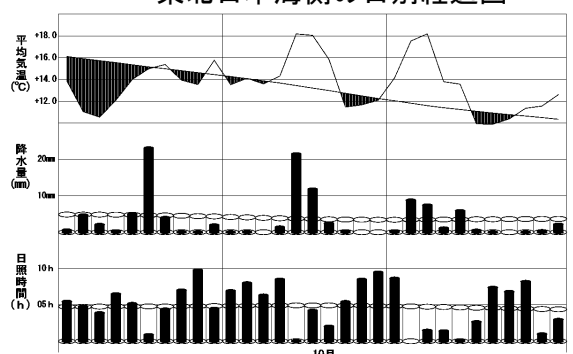
(5) 2011 年 10 月の日別経過図



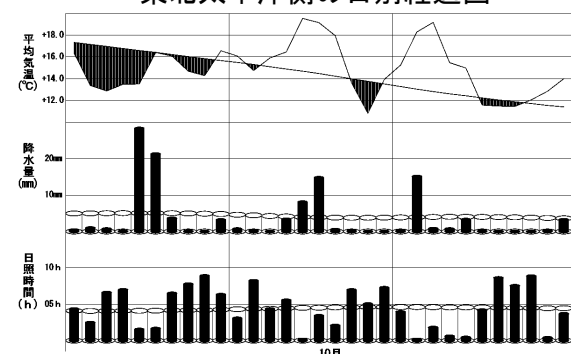
東北日本海側の日別経過図



東北太平洋側の日別経過図



東北北部の日別経過図



東北南部の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2011 年 10 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新
3 位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新
3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新
3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新
3 位以内はなし

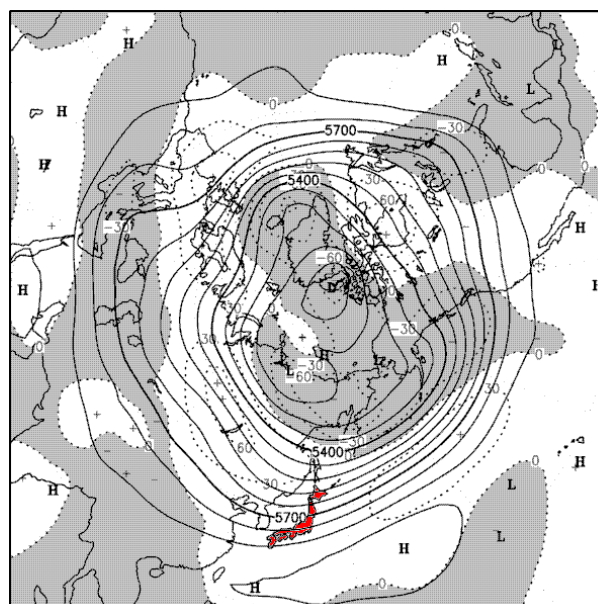
月間日照時間多い方からの順位更新
3 位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新
3 位以内はなし

(7) 2011 年 10 月の循環場の特徴

500hPa 高度は、中緯度帯で偏西風の蛇行が明瞭で、日本付近は正偏差となったが偏差は小さかった。

東北地方は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。上旬は強い寒気が南下したため、気温はかなり低くなったが、下旬は南から暖かい空気が流れ込んだため、気温はかなり高くなった。



2011 年 10 月の平均 500hPa 高度

実線は高度(m)、間隔 60m。点線は偏差(m)、間隔 30m。
陰影部は負偏差 (寒気に対応)

(8) 2011/2012 年寒候期 季節現象

11 月 1 日 15 時現在の状況

2011/2012年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	10. 28	10. 29	10. 30		11. 3	11. 17		11. 6	10. 26
秋田		11. 11	11. 17		11. 17	11. 27		11. 13	11. 15
盛岡		10. 22	10. 19		10. 27	10. 27		11. 8	11. 15
仙台		11. 10	11. 17		11. 21	11. 24		11. 24	12. 15
山形		10. 30	11. 12		11. 1	11. 12		11. 18	11. 29
福島		11. 9	11. 19		11. 14	11. 19		11. 26	12. 09

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハッコウダサン 八甲田山	1585	10. 3	10. 17	10. 26	ガンドサン 雁戸山	1485		10. 29	10. 27
イワキサン 岩木山	1625	10. 3	10. 21	10. 27	リュウザン 瀧山	1362		10. 30	10. 27
タイヘイザン 太平山	1170		11. 2	10. 26	イズミガタケ 泉ヶ岳	1175		11. 6	11. 29
イワテサン 岩手山	2038	10. 2	10. 13	10. 27	ザオウザン 蔵王山	1841	10. 4	10. 24	10. 27
ガッサン 月山	1984	10. 3	10. 18	10. 29	アツマヤマ 吾妻山	1949	10. 3	10. 23	10. 27
アサヒダケ 朝日岳	1871	10. 3	10. 22	10. 27					

(注) 蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。